

# 「鉄骨工事における製作要領書ポイント集」が完成

修行会長

## 「正確な情報の共有を末端まで」

### 県建築鉄骨研究会



陣川専門委員長

長崎県建築鉄骨研究会（修行検査長／長崎大学名誉教授）は15日、長崎商工会館2階ホールを会場に「鉄骨工事における製作要領書ポイント集」の周知と普及を図るための講習会を開催した。

「鉄骨工事における製作要領書ポイント集」は、建築鉄骨の品質を向上させることを目的に、学識者が中心となって、発注者・設

計者・施工者・製作者が一体となり製作にあたった。今までにこのテキストに類する書籍は存在しなかったという点もあり、会場には約100名近くの受講者が足を運んだ。

開会にあたり、あいさつに立った陣川好高専門委員長は、「私たち鉄骨研究会の専門委員会は、鉄骨造の特徴を活かした高品質の建築物が数多く造られ普及していくことを目的に、身近なことから毎年テーマを決めて取り組んでいる。『鉄骨工事における製作要領書ポイント集』は、前年度より取り組み、中間



修行会長

発表会を経て課題を抽出、再検討を行って完成した。内容は、鉄骨製作の基本的な知識から専門的な分野まで、幅広く、そして多岐にわたって記載されているので、資料として役立つものと確信している」と、言葉の端々に自信を見せた。

続いて修行会長は、長崎県建築鉄骨研究会の成り立ちに触れた後、「この『鉄骨工事における製作要領書ポイント集』を製作した目的は、正確な情報の



岩永専門委員

共有が末端まで浸透すること。先人により培われてきた技術や経験が醸成されることが品質の向上に役立つと考えています。また、現場の方々が日頃思っていることも記載されているので、是非とも建築を志す学生にも読んでほしい」と述べた。

その後、テキストの解説には製作にも携わった同会専門委員の岩永尚氏が立った。「建設現場は構造によって風景が違ふ。熟練者のみならず、学生や

若年経験者の方々にも是非、入門書として活用してほしい」と期待を込めた。

テキストには、鉄骨の各部位の名称から、鉄骨とはどう造るのか？、鉄骨の材料はどういうものがあるか？、溶接って何だろう？といった基本的なことから、代表的な鋼材の化学成分の特性といった専門的な項目もあり、受講者らは完成したばかりのテキストのページを手繰りながら真剣に聞き入っていた。



会場は満席

出典  
建設新聞  
2016年3月19日付